

【中学校理科における活用案】

第1学年「活きている地球～大地は語る～」における活用について

- ～ 基本的な考え方 ～
- 本案は、中学校学習指導要領理科第2分野の内容(2)大地の変化を受けて構成されており、地形に対する問題意識をもたせるとともに、地層をつくる岩石や化石を手がかりに大地の歴史を追求する活動を展開するため、「ひむか学」ホームページ（海がつくった景色）を活用した基本的な学習の流れを示している。（全5時間程度）

主な目標は下のとおりである。

・

大地の活動の様子や身近な地形、地層、岩石などの観察をとおして、地表に見られる様々な事物・現象を大地の変化と関係づける見方や考え方を養う。

■

地域の露頭や化石等の情報を共有する取組を進める。

■

宮崎県総合博物館HPみやざきデジタルミュージアムのコンテンツの活用も図る。

学習の流れ		「ひむか学」ホームページの活用例	
		ページ	活用とねらい
導 入	1 オリエンテーション (1) 「鬼の洗濯岩」や「馬ヶ背」の画像をみて気づいたことを発表する。 ・ 地域の露頭についての写真や映像等も視聴することとおして、郷土の地形に対する興味関心を高め、学習への見通しをもたせる。	海がつくった景色	・ 宮崎県の代表的な地形と地域の地層を関連させ、郷土の地形に関心をもたせ、これからの学習につなげる。
	2 地層のつくりと広がりについて話し合う。 (1) 地層の歴史について考える。 ・ 層の積もり方や連続性に気づかせる。 ・ 化石が含まれる地層を確認させる。	鬼の洗濯岩 馬ヶ背	・ 日南海岸の波状岩とリアス式海岸の馬ヶ背の特徴から過去に起こったことを推論する。
展 開	3 地層をつくる岩石について調べる。 (1) 堆積岩や化石の観察をする。 ・ ルーペや双眼実体顕微鏡で粒の色や大きさを調べさせる。	もっとくわしく知りたい人は	・ 宮崎県総合博物館みやざきデジタルミュージアムの岩石のページを活用する。
	4 地層のできた当時の様子を話し合う。 (1) 水のはたらきと関連させて推論する。 ・ 風化や浸食を理解させる。 （宮崎四万十層群）	もっとくわしく知りたい人は	・ 宮崎県総合博物館みやざきデジタルミュージアムの地形・地質のページを活用する。
終 末	5 宮崎県の地理的特徴をまとめ、その影響が残る植物の分布を知る。 (1) 温暖な気候と植物の関係を理解する。 ・ 示相化石と関連させる。 ・ 宮崎の温暖な気候と化石との関係づけをさせる。	亜熱帯性植物の北限 もっとくわしく知りたい人は	・ 発展的に、海流の流れによって、温暖な気候になることや植物の分布について知る。 ・ 宮崎県総合博物館みやざきデジタルミュージアムの化石のページを活用する。